

特待生制度

本学では、学業やスポーツ分野で特に優秀な成績を収めた受験生に対して、入学金や授業料を減免する様々な特待生制度を用意しています。

特待生選抜を受けようとする場合、各入試ごとの出願書類と併せて、「特待生志願票①」、特待生の種類に応じた「特待生志願票②または③」の用紙を同封の上、各入試の出願期間内に出願してください。

特待生選抜結果については、各入試の可否通知書と併せて通知します。

特待区分と入学金・授業料の減免

成績や検定・資格により以下の区分に分かれます。

特待区分	募集人員	入学金	授業料	教育充実費	初年度年間納入額
S G特待 <small>※多文化コミュニケーション学科でグローバル人材育成プログラムの講義を受講する者のみ</small>	若干名	0円 (100%免除)	0円 (4年間100%免除)	260,000円	260,000円
S特待			0円 (1年次100%免除)		
A特待	合計70名予定	260,000円	350,000円 (50%免除)		870,000円
B特待			525,000円 (25%免除)		1,045,000円
(参考) 通常入学の場合		260,000円	700,000円	260,000円	1,220,000円

(1) S G特待(グローバル人材育成プログラム生対象)は1~4年次の授業料が100%免除されます。

(2) S特待は2~4年次の授業料が50%減免となり、A・B特待は減免率が原則4年間継続されます。

(3) 進級時に特待生資格の継続を判断する審査が行われます。本学が設定する一定以上の成績評価を収めることが、継続の条件となります。(ビッグバンド特待生、スポーツ特待生は除く)

(4) ビッグバンド特待生・スポーツ特待生は、それぞれの活動を継続するとともに、定められた単位数を修得することが特待生資格を継続する条件となります。

(5) 入学後に本学が定める成績基準を満たした場合は、特待区分の上昇および新規特待生に採用されます。

(6) 退学した場合は、その時点の学年・学期分の「減免された授業料」が請求されます。

特待の種類と特待区分

特待区分 特待生の種類	S G特待	S特待	A特待	B特待
優良特待生		○	○	○
資格特待生	○	○	○	○
共通テスト利用選抜特待生	○	○	○	○
ビッグバンド特待生		○	○	○
スポーツ特待生		○	○	○

特待生の種類と入試区分

※特待の併願はできません。

特待生の種類	特待生に志願できる入試区分					
	学校推薦型 選抜	一般選抜	共通テスト 利用選抜	総合型選抜		
				総合型	スポーツ 特別	社会人
優良特待生	○	○	×	○	×	×
資格特待生	○	○	○	○	×	○
共通テスト利用選抜特待生	×	×	○	×	×	×
ビッグバンド特待生	○	○	○	○	×	×
スポーツ特待生	○	×	×	×	○	×
グローバル人材育成プログラム生 <small>※多文化コミュニケーション学科でグローバル人材育成プログラムの 講義を受講する者のみ</small>	○	○	○	○	×	×

優良特待生

出願資格・要件	<p>以下の条件をすべて満たす者。</p> <p>① 2027年3月に高等学校, 中等教育学校, 特別支援学校高等部を卒業見込みの者。</p> <p>② 学習成績の状況が4.0以上の者で, 下の(1)~(6)の中から1項目以上該当する者。</p>
---------	--

要 件	特待区分		
	S	A	B
(1) 全国規模の研究発表大会に県代表として発表した者	○	○	/
(2) 部活動, 生徒会活動, 学校行事, 文化的行事でリーダー的役割を果たした者	/	○	○
(3) 海外との交流で積極的役割を果たした者	/	○	○
(4) ボランティア活動や地域貢献活動において, 継続的に取り組んだ者	/	○	○
(5) 総合的な探究の時間等における商品開発や課題研究, プロジェクト学習, 各種大会等で表彰された者	/	○	○
(6) 文化・スポーツ等の活動において九州大会以上の大会に出場し活躍した者	/	○	○

認定方法	特待生を受けようとする入試の成績, 提出書類等をもとに総合的に評価
提出書類	特待生志願票①・③ (個人名が掲載されているメンバー表や個人の実績を証する資料等の写し, または監督・顧問の推薦書を添付)

資格特待生

特待区分の設定	S G 特待	S 特待	A 特待	B 特待
	○	○	○	○
出願資格・要件	①入学後の勉学について明確な意思と熱意を持ち、本学が求める学力を有する者。 ②本学の建学の理念と教育目標に基づき、入学後は学業に励むとともに学内外での活躍が期待できる者。 ③本学が指定する資格・検定を取得している者、または2027年3月31日までに取得見込の者。			
認定方法	特待生を受けようとする入試の成績、提出書類等をもとに総合的に評価			
提出書類	特待生志願票①・②(検定等の合格を証する資料等の写しを添付したもの) ※2027年3月31日までに資格取得予定の場合も特待生志願票①・②の両方を必ず提出してください。			

共通テスト利用選抜特待生

特待区分の設定	S G 特待	S 特待	A 特待	B 特待
	○	○	○	○
出願資格・要件	①原則、高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部を2027年3月卒業見込みの者。 ②入学後の勉学について明確な意思と熱意を持ち、本学が求める学力を有する者。 ③令和9年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を受験し、好成績を収めた者。 ④本学の建学の理念と教育目標に基づき、入学後は学業に励むとともに学内外での活躍が期待できる者。			
認定方法	高得点の上位2科目を400点満点に換算し、提出書類等をもとに総合的に評価。 ※指定教科・科目以上を受験した場合は、高得点の2教科2科目を合否判定に使用します。 ※この制度により S G 特待・S 特待生として採用された場合、検定料14,000円を入学後に奨学金として支給します。			
提出書類	特待生志願票①			

スポーツ特待生 (※高校1～3年次の成績を含む)

特待区分の設定	S 特待	国、高体連が主催・共催する全国大会に出場し、好成績を収めた者。または、これに準ずる実績・技能を持つ者。
	A 特待	国、高体連が主催・共催する九州大会に出場し、好成績を収めた者。または、これに準ずる実績・技能を持つ者
	B 特待	高体連が主催・共催する県大会でベスト8以上の成績を収めた者。または、これに準ずる実績・技能を持つ者。
出願資格・要件	①原則、高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部を2027年3月卒業見込みの者。または2026年3月に卒業した者。 ②入学後の勉学について明確な意思と熱意を持ち、本学が求める学力を有する者。 尚、原則、オープンキャンパスに参加した者で、学習成績の状況が3.0以上であることが望ましい。 ③高等学校で体育部もしくは各種スポーツ団体に所属し、熱心に活動し好成績を残した者。 ④上記の③に準ずる実績・技能を持つ者で、クラブ監督または顧問が実績を認め推薦された者。 ⑤入学後は必ず入部し、学業に励むとともに体育部活動を継続し、リーダーとして活躍できる能力を有する者。 ⑥競技は「卓球」「バレーボール」「サッカー男子」のみとする。 ※部活動を継続できなくなった場合、特待生の資格を喪失する場合があります。	
認定方法	特待生を受けようとする入試の成績、提出書類等をもとに総合的に評価	
提出書類	特待生志願票①・② (個人名が掲載されているメンバー表や個人の実績を証する資料等の写し、または監督・顧問の推薦書を添付)	

ビッグバンド特待生 (※高校1～3年次の成績を含む)

特待区分の設定	S 特待	九州以上の大会で好成績を収めた者。または、これに準ずる実績・技能を持つ者。
	A 特待	県大会で金賞を受賞した者 (10位相当)。または、これに準ずる実績・技能を持つ者。
	B 特待	県大会で銀賞もしくは銅賞を受賞した者。または、県大会に出場した者。
出願資格・要件	①原則、高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部を2027年3月卒業見込みの者。 ②入学後の勉学について明確な意思と熱意を持ち、本学が求める学力を有する者。 ③高等学校で吹奏楽部等に所属し、熱心に活動 (マーチング・アンサンブルを含む) に取り組んだ者。 ④入学後は必ず入部し、かつ、学業に励むとともに本学のビッグバンドプロジェクトに参加し、リーダーとして活動を継続する者。 ※ビッグバンドプロジェクト活動に参加できなくなった場合、特待生の資格を喪失する場合があります。 ※その他、出願資格等については、入試広報課 (0957-26-0044) へ直接ご相談ください。	
認定方法	特待生を受けようとする入試の成績、提出書類等をもとに総合的に評価 ※「A特待」「B特待」対象者が、共通テスト利用選抜で好成績の場合、「S特待」または「A特待」に認定	
提出書類	特待生志願票①・② (個人名が掲載されているメンバー表や個人の実績を証する資料等の写し、または顧問の推薦書を添付)	

資格特待生

該当資格一覧

出願資格・要件

本学が指定する資格・検定を取得している者、または、取得期限は2027年3月31日までとする。

SG特待（入学金・4年間授業料100%免除）該当資格

※SG特待については、2027年3月卒業見込みの者に限る

語学分野（英語）

- ・ 実用英語技能検定 準1級 ・ GTEC（4技能）1140点以上 ・ TOEIC L & R 750以上
 - ・ 大学入学共通テスト「英語」170点以上
- ※多文化コミュニケーション学科でグローバル人材育成プログラムの講義を受講する者のみが対象

S特待（入学金・1年次授業料100%免除）該当資格

語学分野	商業分野・情報分野
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定 準1級または2級受験で英検CSEスコア2150以上 ・ TOEIC L & R 650以上 ・ HSK(漢語水平考査) 3級 ・ 中国語検定試験(中検) 3級 ・ 韓国語能力試験(TOPIK II) 4級 ・ ハングル能力検定 3級 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日商簿記検定 2級 ・ 日商販売士検定 2級 ・ FP技能検定 2級 ・ 基本情報技術者 ・ 秘書検定 準1級

A特待（授業料50%免除）該当資格

語学分野	商業分野・情報分野
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定 2級取得で英検CSEスコア2150未満 ・ TOEIC L & R 600以上 ・ HSK(漢語水平考査) 2級 ・ 中国語検定(中検) 4級 ・ 韓国語能力試験(TOPIK I) 2級 ・ ハングル能力検定 4級 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日商PC検定 2級 ・ 全国商業高等学校協会主催検定 1級を<u>3つ以上</u>取得 <ol style="list-style-type: none"> ①商業経済検定 ②簿記実務検定 ③情報処理検定(プログラミング) ④情報処理検定(ビジネス情報) ⑤英語検定 ⑥ビジネス計算実務検定(珠算) ⑦ビジネス計算実務検定(電卓) ⑧ビジネス文書実務検定 ⑨財務諸表分析検定・財務会計検定・管理会計検定 <p>※⑨はいずれか1つ以上の合格をもって1つに数えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P検(ICTプロフィシエンシー検定) 2級 ・ 秘書検定 2級 ・ ITパスポート ・ 全国工業高等学校長協会 情報技術検定1級
福祉分野	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士 <p>※下記資格は社会人を主対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士・幼稚園教諭・看護師・ケアマネージャー ・ 公認心理士・臨床心理士・社会福祉士 ・ 精神保健福祉士 ・ 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士 	

B特待（授業料25%免除）該当資格

語学分野	商業・情報分野
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定 準2級プラス取得 ・ TOEIC L & R 550以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国商業高等学校協会主催検定 1級を<u>2つ</u>取得 <ol style="list-style-type: none"> ①商業経済検定 ②簿記実務検定 ③情報処理検定(プログラミング) ④情報処理検定(ビジネス情報) ⑤英語検定 ⑥ビジネス計算実務検定(珠算) ⑦ビジネス計算実務検定(電卓) ⑧ビジネス文書実務検定 ⑨財務諸表分析検定・財務会計検定・管理会計検定 <p>※⑨はいずれか1つ以上の合格をもって1つに数えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本商工会議所主催検定 3級 <ol style="list-style-type: none"> ①簿記検定 ②販売士検定 ③PC検定 ・ 秘書検定 3級 ・ FP技能検定 3級
福祉分野	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉住環境コーディネーター 2級 ・ 准看護師 ・ 介護職員実務者研修 修了 	
家政・生活分野	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食物調理技術検定 1級 ・ 食生活アドバイザー 2級 	

※上記該当資格に準ずる資格・検定を所持している場合は、入試広報課（0957-26-0044）へご相談ください。